

平成21年1月29日

～観光を活かした生活航路の維持と地域づくりを目指して～
沼島モデルシンポジウム開催

国土交通省神戸運輸監理部 総務企画部
企画課長 伊藤 政美

平成21年1月29日、神戸市中央区の市勤労会館にて、沼島モデルシンポジウムを開催しました。平成20年度、神戸運輸監理部が南あわじ市沼島の活性化に取り組む有志とともに調査・実践した、観光を活用した生活航路の維持と地域づくりメソッド「沼島モデルプロジェクト」の総括とこれからの展望・可能性を探るシンポジウムです。平日の開催でありましたが、約100名が参加して熱い議論で盛り上がりました。

今回のシンポジウムには、「浪速のカリスマ添乗員」と呼ばれ、テレビ・ラジオの出演等でもおなじみ、日本旅行西日本営業本部企画販売部チーフマネージャー平田進也氏にゲスト講師として、沼島観光の魅力と可能性について講演をいただきました。



平田進也先生

平田先生はシンポジウムでの講演に当たり、事前に沼島を訪問して下さいました。国内外のツアーで東西奔走され、お忙しい方なだけに、頭が下がります。シンポジウム当日、沼島からの参加者が目を輝かせ、大きくうなずきながら講演に耳を傾けている姿を見て、プロジェクトに携わってきた私も感激しました。

後半のパネルディスカッションでは、当方から淡路島観光圏（平成20年10月国土交通省認定）を活用した沼島観光のアイデア（たたき台）を出し、プロの平田先生の胸を借りました。淡路島本島や播磨沿線の自治体、ホテル関係者等からの参加も多数あったことから、沼島がさらに飛躍するきっかけになればと期待しています。



沼島の取り組みは、人口減少と高齢化が進む離島でも、皆で知恵を出し合い、コミュニティの気持ちがひとつになれば、これだけのことができる。地域観光に取り組みたい、地域を元気にしたい他の離島・過疎地域にも応用できるものだと思っています（了）。